

令和8年（2026年）度施策評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価者 環境部長 不破 寛和

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	3-(3) 生活環境	施策の方針	3-(3)-③次代に向けたエネルギー・環境対策の推進
目標とするまちの姿	エネルギー・環境に関心の高い市民・NPO・事業者との連携により、太陽光や豊かなみどりなどの「資源」を余すことなく活用し、省エネ・創エネ・蓄エネの取組が積極的に進められています。さらにライフスタイルや企業活動の転換とともに、再生可能エネルギー等の導入や低炭素型の社会への移行が進んでいます。			
主な取組	(1) 効率的なエネルギー利用の促進等 省エネ意識や省エネ設備の普及啓発を図り、市民・事業者・市が主体的にエネルギーマネジメントに取り組みます。 (2) 再生可能エネルギー等の導入と低炭素まちづくりの推進 太陽光などの再生可能エネルギーを家庭・事業所・公共施設が積極的に導入することを促すとともに、化石燃料にできるだけ頼らないライフスタイルや生産活動を営むまちづくりを進めます。 市内で発生した植木剪定材を燃料とした電力を市の施設等に調達するなど、再生可能エネルギーの地産地消を図り、循環型社会の実現を目指します。 (3) 環境教育の推進 「持続可能な開発のための教育(ESD)」の視点から環境教育を推進するとともに、データの可視化や行動科学等の理念に基づくアプローチを通じて、現代社会の課題を自らの問題として捉え、市民の低炭素型生活への行動変容を促します。また、市民・事業者・市等が、それぞれの役割に応じて、また、互いに協働しながら、環境保全活動を実践することを目指します。			

1. 前年度(評価対象年度)の当該施策の目標

令和7年度に計画期間が終了する「第3期鎌倉市環境基本計画」及び「鎌倉市環境教育行動計画」の改定並びに脱炭素関連諸計画の見直しに向けた検討を行う。

市の施設への再エネ100%電気の100%導入を目指すため、残る低圧受電施設への再生可能エネルギー100%電気又は環境価値の導入による実質的な再エネ化の検討を進める。

気候変動について市民向けの啓発を行い、より一層の具体的な行動変容を促す。

国の重点対策加速化事業費補助金を活用し、個人・事業者に対して太陽光発電設備等を設置する際の費用を補助することで再生可能エネルギーの導入を促進する。

2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	15,782	14,834	28,049	16,123	9,860	34,822
人件費	27,813	27,855	27,886	20,430	37,033	44,177
総事業費	43,595	42,689	55,935	36,553	46,893	78,999

3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
重	環境-02	環境基本計画等推進事業		34,822	44,177	78,999	現状維持	A	現状維持

4. 評価対象年度の主な実施内容

- ①令和7年度に計画期間が終了する「第3期鎌倉市環境基本計画」及び「鎌倉市環境教育行動計画」の改定並びに脱炭素関連諸計画の見直しに向けた検討を行った。
- ②市施設全体の電気使用量に占める再エネ調達率9割を維持するとともに、残る低圧受電施設への再生可能エネルギー100%電気又は環境価値の導入による実質的な再エネ化の検討を進めた。
- ③気候変動についてロビー展示や夏休みの子ども向け企画「らんま先生のeco実験パフォーマンスショー」等を通じて市民向けの啓発を行った。
- ④国の重点対策加速化事業費補助金を活用し、個人・事業者に対して太陽光発電設備等を設置する際の費用を補助することで再生可能エネルギーの導入を促進した。

※実施できなかった事業とその理由

市低圧施設への再エネ100%電気の導入に向け引き続き事業者ヒアリングを実施したが、調達環境が整わず実現に至らなかった。

5. 成果指標

成果指標①		照明をこまめに消す、LED照明を使用するなど、電気を賢く使用する市民の割合						出典	市民アンケート調査	
初期値	令和2年1月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	88.5	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	%	
		実績値	未実施	91.7	91.8	91.7	92.6	89.8		
		達成率	—	101.9%	102.0%	101.9%	102.9%	99.7%	%	

成果指標②		市の業務全体から生じる二酸化炭素排出量（エネルギー起源）（鎌倉市SDGs未来都市計画 指標）						出典	鎌倉市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）	
初期値	平成29年度	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	18,874	目標値	18,333	17,791	17,250	16,709	16,168	15,626	t-CO2	環境省が令和9年4月頃に公表する資料に掲載される数値を利用して算出
		実績値	16,473	8,366	8,751	9,038	3,427	未定		
		達成率	111.3%	212.7%	197.1%	184.9%	471.8%	—	%	

成果指標③		市の施設における電気使用量						出典	鎌倉市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）	
初期値	平成29年度	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	35,248,779	目標値	34,835,194	34,421,609	34,008,024	33,594,439	33,180,854	32,767,269	kWh	令和7年度エコアクション21実績に基づき令和8年9月頃算出予定
		実績値	34,168,769	35,662,359	34,697,488	34,472,738	34,157,583	未定		
		達成率	102.0%	96.5%	98.0%	97.5%	97.1%	—	%	

成果指標④		市内の再生可能エネルギー導入率						出典	環境省自治体排出量カルテ	
初期値	平成28年度	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	1.1	目標値	1.2	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	%	環境省が令和9年4月頃に公表する資料に掲載される
		実績値	1.6	1.8	1.9	2.2	2.4	未定		
		達成率	133.3%	118.8%	105.3%	116.7%	126.3%	—	%	

6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

省エネ行動については、率先行動として市の施設における電気使用量の削減を継続的に取り組むとともに、環境月間やイベントでのブース出店など時機を捉えて啓発を実施しており、市民の省エネ行動を促し、生活様式の中に一定程度定着させることができています。

市の事務事業から排出するエネルギー起源CO₂については、令和3年度に再エネ100%電気の導入を開始し、令和5年度からは電力負荷の大きい山崎浄化センターなどの高圧24時間稼働受電施設を追加し、令和7年度時点で合計67施設での再エネ100%電気の導入を継続しているため、引き続き目標を上回ることができた。

市の施設における電気使用量については、初期値からは減少傾向にあるものの、目標にはわずかに及ばなかった。自動車のEV化や気候変動によるエアコン稼働増などの社会変化もあることから、今後も動向を把握していく。

7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

鎌倉市域における令和12年度(2030年度)の二酸化炭素排出量の削減目標の達成と2050年の脱炭素社会の実現を見据え、第4期鎌倉市環境基本計画の改定作業を進め、脱炭素社会の実現に向けた施策展開の環境整備を進めることができた。

脱炭素社会の実現には、多くの人が行動変容を起こすことが必要であり、移行期においては経済的なインセンティブも必要である。再エネ導入について初期投資が少ない県の制度を紹介するほか、令和7年度には国の重点対策加速化事業費補助金を活用することで再エネ等の導入に補助金総額を大幅に拡大し、脱炭素社会の実現に貢献している。

激甚化する災害の要因として気候変動の影響が身近に感じられるようになり、中東情勢等からエネルギーを巡る不確実性が高まる中、市民が省エネの必要性を改めて考える契機となっている。そのような中、啓発のための講座やイベントでは気候変動に関する危機的状況について周知するとともに、「我慢」ではなく楽しみながら行動変容を促すきっかけとして有効である。

こうした取組状況を勘案し、環境基本計画等推進事業の貢献度はAとした。

8. 今後の方向性

鎌倉ミライ共創プラン2030 該当施策

1-2 地球温暖化

本市の低圧施設への再生可能エネルギー100%電気又は環境価値の導入による実質的な再エネ化を進める。

市民や事業者の再生可能エネルギー導入に向け、従来の補助事業に加え、国の重点加速化交付金による補助を継続する。

第4期環境基本計画を策定、進行管理するとともに、市の施策を着実に遂行する。